

# 柏崎市立鯖石小学校



鯖カッパ



学校データ

【学級数】

5学級

【児童数】

41名

【地域コーディネーターの有無】

有

## 「ふるさと鯖石」への愛着と誇りをもつ子どもの育成

### 1 はじめに

当校は、東に八石山、南に黒姫山を望み、地域の中央を鯖石川が流れている自然豊かな地域にある。

鯖小マスコットキャラクター「鯖カッパ」の誕生には、子どもが地域とかかわり、進んで追求してほしいという願いが込められている。子どもたちは素直で何事にも前向きに取り組むが、主体性や創造性に弱さが見られるからである。地域教育プログラムの実践を通して、「ふるさと鯖石」への愛着と誇りをもった子どもの育成を図るとともに、子どもたちの主体性、創造性も育みたい。

そのために、今年度資料Ⅰを作成し、地域コーディネーターや両地区のコミュニティ振興協議会長等と、さらに連携を図った。資料Ⅰは学校としての各学年の学習目標や系統的な地域とかかわり、身に付けさせたい力を示したものである。

### 2 取組の実際

総合的な学習の時間(以下、総合学習)の見直しを図り、地域とのかかわりを①地域を知る、②地域とかかわる、③地域に働き掛けるの3つに分類した。さらに、系統的に地域とかかわり、学校にとっても地域にとってもWin Winとなる活動となるように計画を見直した。以下、総合学習について紹介する。

#### (1) 3・4年「鯖石の宝ものを見付けよう」

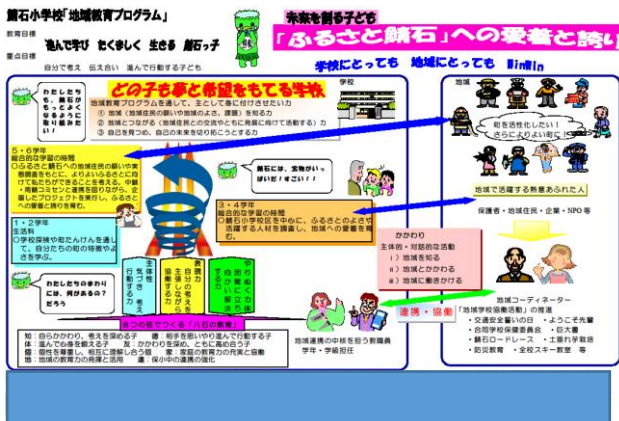
##### ①鯖石の宝ものは何だろう？

2年生までの学習を基に、「鯖石の宝ものは何だろう？」と話し合った。話し合いを通して、自然の豊かさ、生きものの豊かさ、土垂(どだ)れ芋に関することの3つにまとまった。子どもたちの主体性を育み、意欲的に活動に取り組ませるため、子どもの興味・関心に基づいて3グループに編成した。鯖石の宝ものである理由を説明できるようになりたいと、総合学習が始まった。

##### ②土垂れ芋

南鯖石地区では、里芋の一種で、古来種である土垂れ芋を栽培し、郷土料理おいな汁に調理している。

土垂れ芋を植える際、JA 柏崎、地域の農家の方、地域コーディネーターから指導をいただいた。土垂れ芋が鯖石地域でしか栽培されていないことを知り、子どもたちは土垂れ芋への愛着をさらに深め、



資料Ⅰ 地域教育プログラムの概要

追求を始めた。

### ③野鳥観察

普段からカエルやトカゲ、トンボなどに親しんでいるが、鯖石の自然の豊かさのありがたさに気付いていない。

かしわざき野鳥の会の方から指導をいただきながら鯖石の野鳥スポットをまわることで、子どもたちは鯖石の自然の豊かさに気付いていった。

### ④今後の予定

鯖石の宝ものを外部に発信する。土垂れ芋については、地域にあるイーリーカフェとコラボ料理を販売する予定である。また、鯖石の宝もののCMを制作し、市役所や地域の方々に配布する計画である。さらに、学校近くの用水路にホテルを復活させようと、環境保全や清掃活動に取り組んでいる。子どもたちの願いを大切に、地域の方と協力しながら取組を継続していく。

## (2) 5・6年「鯖石を盛り上げよう」

### ①NPO 法人との連携

今年度から、“かしわざき市民活動センターまちから(NPO 法人)”と連携を図り、鯖石を盛り上げる取組を行っている。「盛り上げたいと思っている人が活動を起こす」と教えられ、子どもたちは活動への意欲を高めた。学習の進め方を確認し、地域の方から直接話を聞きたいと、インタビューの練習も行った。

地域の企業やカフェ等の4社から協力を得て、インタビューと自分たちの案を伝えた。地域の方から外部評価とアドバイスをいただいたことで、子どもたちはさらに自分たちがやりたいことを明確にして、行動を開始した。

### ②今後の予定

第五中学校との防災学習や総合学習を基に、地域の方とともに人の役に立つ活

動を展開する。4社とコラボし避難所で提供する食事やパーティション・枕などの開発に取り組む。また、防災時の行動スタイルをポスターにまとめ、地区長会や地域に配布する。子どもたちのふるさと鯖石を盛り上げたいという想いを大切にしながら、“まちから”や4社と連携を図りながら取組を継続していく。

## 3 成果と課題及び本実践で

### 育成された資質・能力

子どもの学校評価では、「地域と関わる学習が好き」「地域のために自分のできることをしたい」の肯定的評価がともに90%であった。同様に保護者では、「学校は、保護者・地域と連携、協力して教育を進めている」「地域の特色を生かした活動を進めている」「地域の一員としての活動に取り組んでいる」が100%であった。

今後も子どもの主体性・創造性を高める活動を模索し、地域とともに持続可能な活動を探っていく。

## 4 おわりに

情報活用能力が学習の基盤となる資質・能力として位置付けられた。地域教育プログラムを通して情報活用能力の育成を図りながら、持続可能な地域との連携の在り方を今後も探っていく。